

---

# 免震重要棟における 集中・遠隔監視システムについて

東京電力株式会社  
平成23年10月

本資料には東京電力(株)または同社以外のノウハウ等が含まれている可能性がありますので転載はご遠慮願います。

# 1～4号機 集中・遠隔監視システムの構築について

---

## 【背景】

- 現場及び中央制御室の環境線量は依然として高く、プラントデータ採取・監視作業において個々人の被ばく量が蓄積
- 事故後に新設した設備の監視装置が複数あり、その監視装置は免震重要棟内及び現場に散逸している状況

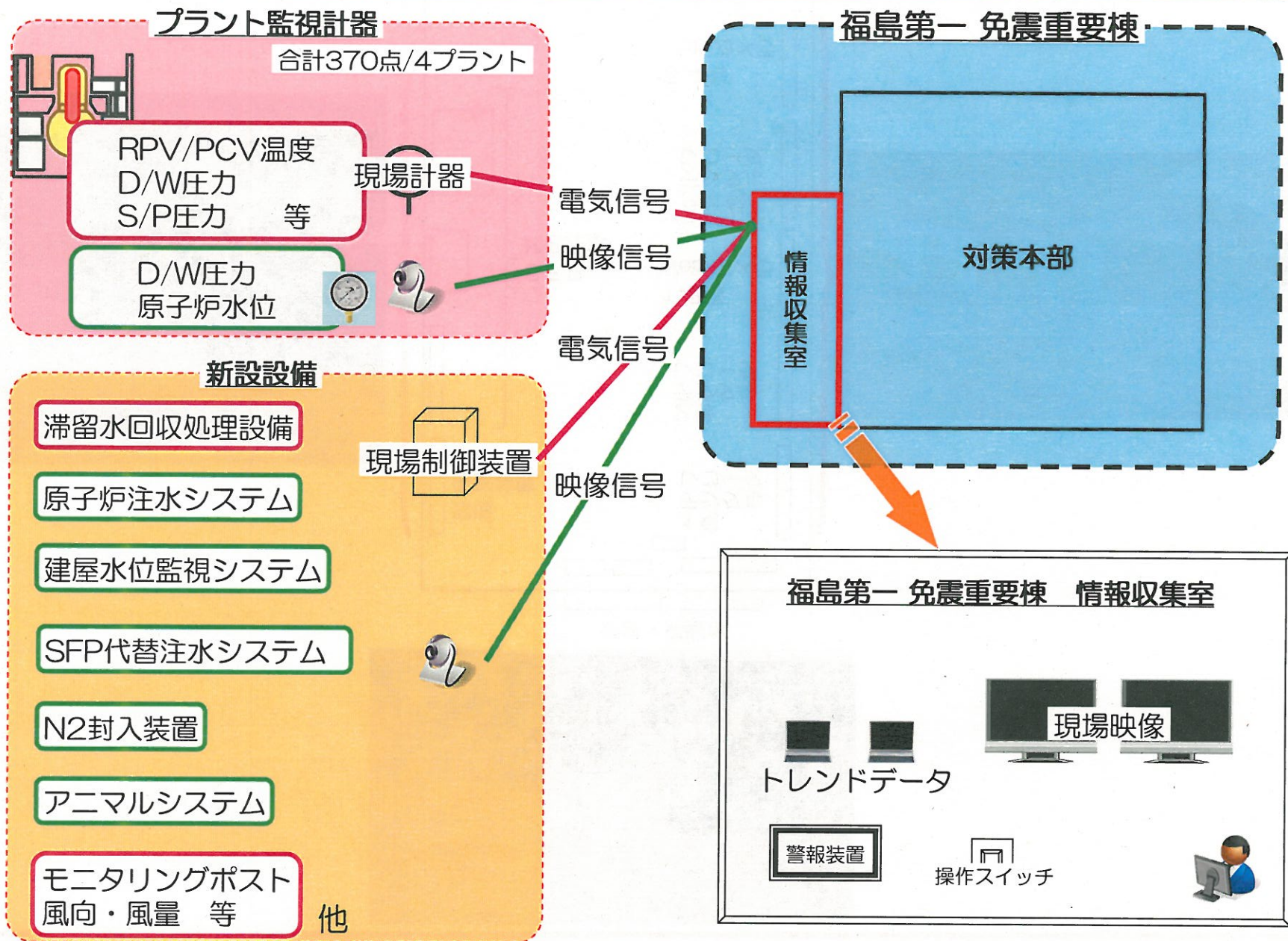
## 【目的】

- 免震重要棟内等のできる限り被ばくしない場所での設備の監視
- 散逸している監視装置を一箇所に集約し、設備の運転状態や不具合状況、また監視装置そのものの不具合等を、早期かつ的確に把握できる環境整備

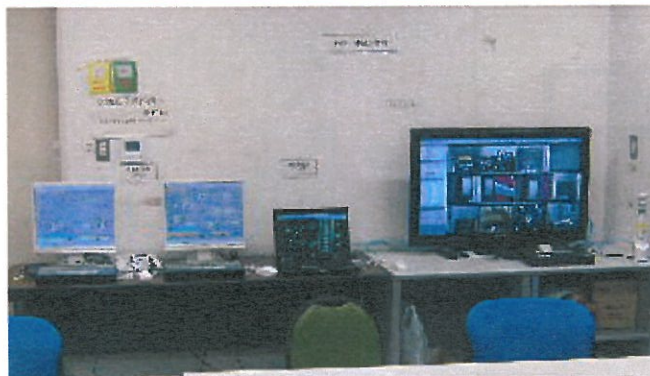
## 【概要】

- 既設現場計器や新設設備における監視パラメータを1F免震重要棟にて集中遠隔監視
- 監視方法は「計器の信号を直接表示」又は「現場計器をカメラにて監視」

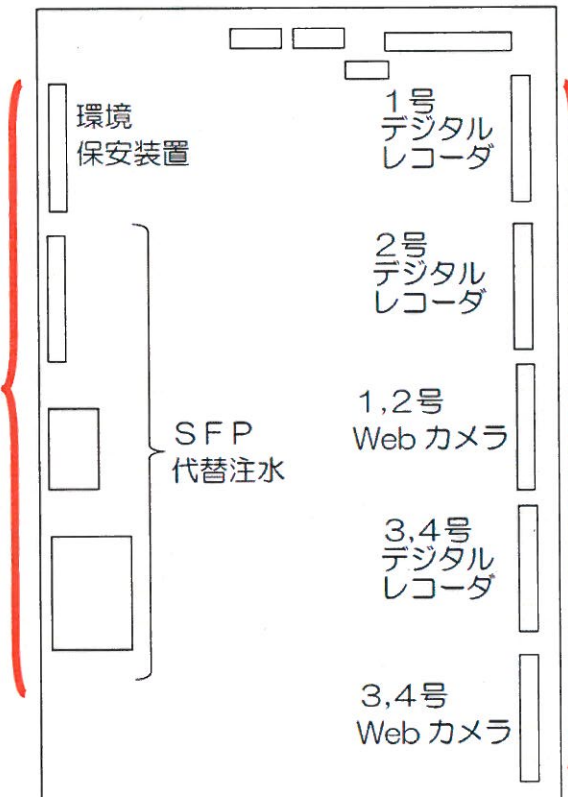
# 1～4号機 集中・遠隔監視システムの構成



# 1～4号機 集中・遠隔監視システムの現場写真



炉注・滞留水



# (参考) 循環注水冷却システムの遠隔監視

